

風しん第5期（麻しん風しん混合ワクチン）定期予防接種を受けられる方へ

国の風しん対策により、風しん抗体検査の結果、風しん抗体値が基準に満たなかった方に、「麻しん風しん混合ワクチン」を接種します。ワクチンの効果や副反応等、ご理解の上予防接種をお受けください。

【ワクチンの効果と副反応】

- ◆使用するワクチン：乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン（MR ワクチン）
- ◆効果：95%以上の確率で免疫が獲得でき、「麻しん」「風しん」の発症及び重症化予防。
- ◆副反応
 - 主な副反応：発熱（約 20%）・発疹（約 10%）【接種後から 14 日の間】
 - 過敏症状：発熱、発疹、かゆみなど【接種直後から翌日】通常 1～3 日でおさまる。
 - 一過性症状：接種部位の発赤、腫れ、しこり、リンパ節の張れ等【通常数日中に消失】
 - まれに生じる重い副反応：アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）、急性血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等）、脳炎及びけいれん等
 - *「アナフィラキシー」：通常接種後約 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応。発汗、急に顔が腫れる、全身にひどいじんましんが出るほか、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続き、ショック状態になるような激しい全身反応。

（出典）国立感染症研究所 感染症疫学センター：麻疹含有ワクチン接種のガイドライン

【接種にあたっての注意事項】

- ◆新型コロナワクチン接種を受ける場合には、前後 13 日以上あけてください。
- ◆予防接種は、体調の良い日に行うことが原則です。
 - 以下の場合は、予防接種を受けることができません。
 - ① 明らかに発熱（通常 37.5℃以上）がある場合
 - ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
 - ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によって「アナフィラキシー」を起こしたことがある場合
 - ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
 - ⑤ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

【接種後の注意事項】

- ① 接種後 30 分程度は、まれに生じる「アナフィラキシー」症状に注意してください。
- ② 接種後 3 週間は、発熱などの副反応に注意してください。
- ③ 接種当日は、いつもどおりの生活がかまいませんが、激しい運動は避けましょう。
- ④ 接種当日の入浴は差し支えありません。
- ⑤ 接種後、注射部位のひどい腫れ、高熱、ひきつけなどの症状があったら、医師の診察を受け、その場合には牛久市保健センターまでお知らせください。

【予防接種による健康被害救済制度について】

- ◆定期予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療や生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。
- ◆生じた健康被害については、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会で、予防接種に起因するものである旨の認定を受ける必要があります。
- ◆健康被害が生じた場合には、診察した医師、牛久市保健センターへご相談ください。

お問合せ：牛久市保健福祉部健康づくり推進課（保健センター）

電話 029-873-2111（内線 1745）平日（月～金） 8:30～17:15